

**本件連絡先**

泉南市総合政策部危機管理課

担当：木津西、大植

TEL:072-479-3601

Mail: kikikanri@city.sennan.lg.jp

令和3年1月19日

泉南市報道提供資料

泉佐野市政第一記者クラブ会員 各位

泉南市秘書広報課長 古木 孝彦

(広報担当：白川)

**災害対策本部設置訓練、津波対策訓練及び避難所開設訓練等の実施について**

平素は、本市の防災行政に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

泉南市は、これまでの大震災等の記憶を風化させることなく教訓とし、幹部職員の実践的な防災実務の習熟と防災意識向上を図るため、本日19日早朝、南海トラフ地震の発生及び同地震に伴う津波災害等を想定した災害対策本部設置訓練を実施しました。

また、水防班による津波対策訓練（防潮施設操作訓練）と避難班による避難所開設訓練等を併せて実施しましたので、お知らせします。

尚、本年から消防団長にも初めてご参加をいただき、現場での指揮等に役立てていただくこととしました。

**【訓練内容】****○災害対策本部設置訓練**

市長を本部長とする災害対策本部員13名により災害対策本部を設置、災害想定に基づき災害対策本部会議を開催し、各班での主な初動応急対応業務の実施状況の把握、被害状況の確認などを行った。災害対策本部員が参集指示を受けてから本部（市庁舎内）到着に要した時間は、最短13分、最長30分だった。

また、併せて災害凶上訓練（DIG訓練）を行い、土砂崩れや河川氾濫の発生が懸念される危険箇所、飲料水の給水ポイントなど、本部員らがそれぞれの専門的な見識や日々の業務における経験に基づき、積極的な意見・情報交換を行い、防災の観点に基づいた市域の特徴を再確認することにより、災害に対する情報共有を図った。

**○津波対策訓練（防潮施設操作訓練）**

水防班員が岡田漁港防潮施設の閉鎖操作を実施した。津波対策の指示を受けてから55分で水門・門扉等（訓練対象：11箇所）すべての閉鎖を完了した。

**○避難所開設訓練**

避難班員が避難所開設の指示を受けてから、訓練対象の指定避難所（泉南中学校）1箇所を開設した。指示を受けてから37分で避難所開設を完了した。

### 【訓練後の市長講評など】

訓練終了後、竹中市長は、今後も様々な状況を想定した訓練を実施し、市民の生命及び財産を守るため、全職員一丸となり、あらゆる災害に対応できるよう組織体制の強化を図り、防災対策の推進に努め総合防災力の向上を目指していくと決意を述べた。

また、市役所庁内放送で、市民の安心と安全を守ることこそが、行政の根幹をなす最大の責務であることを肝に銘じ、災害が発生した場合には、速やかに災害対策活動が実施できるよう、災害に備え職員災害初動マニュアルを確認するなど、常に「心の準備」をしておく必要性を強く認識するよう全職員へ呼びかけた。

### ≪災害対策本部設置訓練の実施状況≫



災害対策本部会議



災害図上訓練（DIG 訓練）

### 【訓練時の災害想定】

令和3年1月19日午前7時00分、紀伊半島沖南海トラフを震源とするマグニチュード9.1の海溝型地震が発生した。近畿地方各地で激しい揺れを感じ、泉南市では震度6強を観測し、物的・人的に甚大な被害が発生した模様である。

男里地区の男里老人集会場付近で火災が発生し、山間部では、東信達地区で土砂崩れが発生している。ライフラインについても、電気・ガス・水道・電話が広い範囲で供給が停止している。

また、九州から関東地方の沿岸部に大津波警報が発表され、泉南市には地震発生後約75分で第一波が到達すると予測されている。

### 【その他訓練】

別途、同日午前9時30分地震発生想定（平日想定）により、全職員による初動応急対応訓練として、地震発生後0～60分の間における災害発生状況等を予測し、併せてどのような意思決定と役割行動が求められるかを考える机上訓練を行い、初動活動期における各自が担う業務等を再確認した。